

## 令和7年度 地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業

### M キャンプ ①～金曜から夜ふかし～ ②～ブラムロト～

#### 1. 事業の概要

##### ○ 趣旨

むろと廃校水族館に宿泊し、海洋生物とのふれ合いを通して海への興味関心を持つとともに、海洋環境について考える場を提供する。

##### ○ 実施期間

①令和7年8月22日（金）～令和7年8月23日（土）1泊2日【金曜から夜ふかし】

②令和7年8月25日（月）～令和7年8月26日（火）1泊2日【ブラムロト】

##### 参加者数

①【金曜から夜ふかし】50名

②【ブラムロト】41名

##### ○ 共催　　むろと廃校水族館

##### ○ 活動プログラム

①金曜から夜ふかし		②ブラムロト	
8/22（金）	8/23（土）	8/25（月）	8/26（火）
13：00 送迎バス (高知方面) 出発	8：45 寝袋片付け 朝食	13：00 送迎バス (高知方面) 出発	6：00 起床、寝袋片付け 椎名散策 ・朝食
15：30 むろと廃校水族館 受付	9：30 ・放流ウミガメの身体測定、 甲羅磨き	15：30 むろと廃校水族館 受付	8：00 ・飼育員体験 ・サメの解剖
16：00 はじまりの会 ・本物のカメの甲羅を貼った カメイシ作り＆交換会 ・飼育員体験	・ウミガメ放流  昼食、閉会式	16：00 はじまりの会 ・本物のサメの歯を貼った サメイシ作り＆交換会 ・放流ウミガメの身体測定	昼食、閉会式
夕食	13：00 むろと廃校水族館 解散・バス出発	・漁師町散歩 ・ウミガメ放流 ・浜弁当、花火	13：00 むろと廃校水族館 解散・バス出発
・ウミガメの産卵に配慮した 元大橋照明、灯台の見学 ・きもだめし	16：00 送迎バス (高知方面) 到着	・浜弁当、花火  シャワー、館内生物観察	16：00 送迎バス (高知方面) 到着
シャワー後就寝		就寝	

#### 2. 活動の様子

○水族館の飼育員体験を通して海洋生物の生態や、どの様な環境が海洋生物にとって過ごしやすいのか、また、ウミガメの身体測定や放流を通してどの様な活動をしているのかを学んだ。

○普段は見れない夜間の海洋生物の様子や、水族館館内のどこで寝るかは自分で決め海洋生物と一緒に就寝した。サメの解剖では、胃の中に残っている物やサメの臭いに驚いている様子が伺えた。



(甲羅磨きの様子)



(ウミガメ放流の様子)



(サメイシ交換の様子)



(サメ解剖の様子)



(水槽清掃の様子)

### 3. 事業の成果と課題

#### ○ 参加者の感想

- ・普通はできないカメの掃除や放流ができた良かった。
- ・優しく生き物の事を詳しく教えてくれた。
- ・もっと生き物の事が知りたくなった。
- ・夜になったら昼にいる魚とは違う魚が出てきた。
- ・色々なことができて、すごく楽しかったし勉強になった。
- ・夜の魚を見てくれた。
- ・サメが臭かった。
- ・生物の命を大切にしたいと思いました。

#### ○ 事業の成果

- ・普段触れることのない海洋生物と触れ合うことで、海洋生物への関心が高まり、そこから現状の海洋問題についても考える様子が伺えた。
- ・海洋生物の昼間の姿だけでなく夜間での姿を見ることができ、昼間との違いに驚いている様子が見られた。
- ・インターンシップ生を加えることで、興味や疑問に思ったことを積極的に聞いていた様子が見られた。

#### ○ 事業の課題

- ・参加申し込み数が100名を超える事業であり、より多くの児童に体験してもらう為1泊2日で2回実施したが、半数程の参加者から1泊2日ではなく2泊3日で参加したという意見もあり、回数や泊数を検討する必要があると思われる。